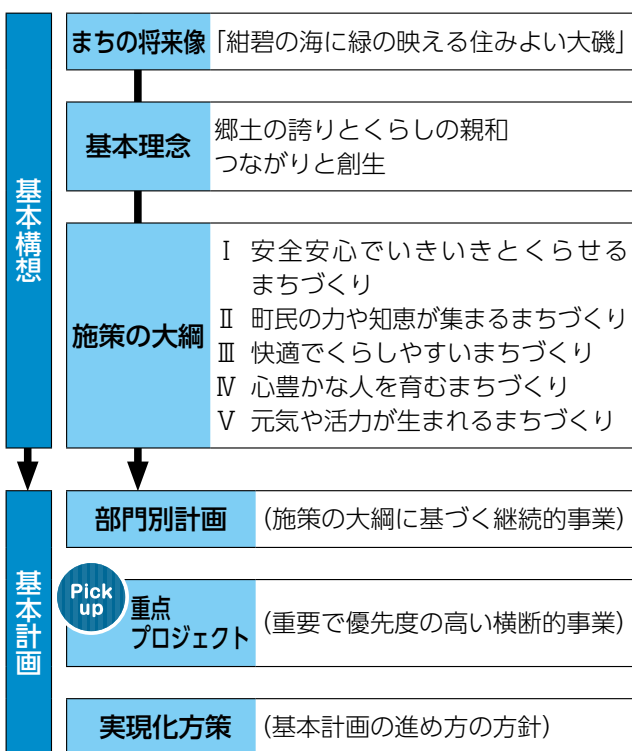


大磯町第五次総合計画 前期基本計画(素案)へのご意見を募集

第五次総合計画の計画体系



問政策課 ☎内線205

町では令和3年度から令和12年度までの10年間にわたる町政運営の指針となる「第五次総合計画」の策定を進めています。

令和2年9月、総合計画の根幹となる「基本構想」が議会の議決を経て決定しました。今後は、「基本構想」で定めたまちの将来像、基本理念、施策の大綱等に基づき、町が実施することをより具体化するため、「基本計画」を策定していきます。

このたび、令和3年度から令和7年度までの5年間を計画期間とする「前期基本計画」の素案がまとまりました。

ご意見をお寄せください！

第五次総合計画前期基本計画に対するパブリックコメントを募集します。ぜひ皆様のご意見をお寄せください。

- ▶ **募集期日** 11月2日(月)～12月1日(火)
- ▶ **閲覧場所** 町民情報コーナー(役場本庁舎、国府支所)、政策課窓口、町ホームページ
- ▶ **提出方法** 郵送(持参)、FAX、Eメール、電子申請
※電話、口頭での受付は行いません。
- ▶ **提出先** 政策課
FAX (61) 1991
✉ seisaku-t@town.oiso.kanagawa.jp

Pick up 前期基本計画 重点プロジェクト

第五次総合計画では、基本構想で掲げるまちの将来像「紺碧の海に緑の映える住みよい大磯」をめざし、基本理念で示す「住んでみたい」、「住み働きたい」、「いつまでも住み続けたい」まちの実現に向けて、分野別施策を牽引する重点プロジェクトを定めます。重点プロジェクトには、戦略的に重要かつ優先度が高く、大磯町らしいまちづくりを推進する取組みを位置づけ、優先的に取り組んでいきます。前期基本計画では、3つの重点プロジェクトを設定し、それぞれのプロジェクトを関連させながら取り組んでいきます。

◆一人ひとりが創る未来のおおいそ

価値観や生活の在り方は多種多様化しており、豊かな町を創り上げていくには、町民一人ひとりが主体となり、自らの、そして自分たちのくらしを築き、その輪を広げていくことが重要です。重点プロジェクトの取組みを土台として、まちづくりに参画しながら、それぞれが思い描く大磯らしい豊かなくらしを創り上げていくことをめざします。町民一人ひとりのライフステージに応じたくらしを実現するために、こうした取組みを町民、事業者、行政が連携・協働しながら進めていきます。

1 働く人を応援するプロジェクト

大磯町の魅力を高め、開かれたまちとして持続していくために、働く人が元気になるまちをめざします。

町内外での交流による地元産業の担い手づくりや魅力的な拠点の形成・活用などを通じて、経営基盤の安定化を図るとともに地域経済の循環を育てていきます。

こうした取組みを町民・事業者と連携・協働しながら進めることで、大磯町民の誇り・憧れ・活気を育み、大磯らしい多様なライフスタイルを創出します。



2 妊娠・出産・子育て・教育の希望をかなえるプロジェクト

少子・超高齢社会が到来する中、次世代へ引き継いでいく社会を形成するためにも子育て・子育ての環境を充実させることが求められています。

行政サービスの充実とともに、地域ぐるみでの子育て・子育て支援の拡充を図ることで、子育てしやすいまちとして大磯町の存在感を高めていきます。

また、大磯町が有する自然や文化・歴史を生かした魅力的な教育を推進し、次世代へと継承していきます。



3 住む人の安心なくらしを守るプロジェクト

自然に囲まれた環境の中で、安心を実感できるくらしを実現することが、大磯町の豊かさの原点です。

平時においては、くらしを支える健康づくりを推進し、安心や交流の基礎となる移動環境の改善により、仕事や余暇などそれぞれのくらしの場面を支えます。

災害などの非常時にも柔軟に対応できるように地域防災力を高め、平時から非常時まで安全で安心してくらすことのできる地域づくりを進めます。

